

2025 年度 3 学年進路通信 Vol.3

関東第一高等学校
校長 乙幡和弘
監修 進路指導部
6月4日(水)発行

Vol.3 では「女子」の大学入試と、今月から総合型選抜(AO)入試が始まる専門学校について掲載しています。

○女子大学の魅力

本校は共学校なので、女子だけの学校で女子だけで過ごす空間ということ、なかなかイメージが湧かないかもしれません。女子大の主な魅力は「伝統・実績がある」「校風・雰囲気ははっきりしていてわかりやすい」「就職に強い」「OG・先輩・同級生とのつながりが強い」といったものがあります。

○女子大学の就職の強さ(出典：大学通信『ユニヴプレス3増刊号』)

以下のランキングは大学通信の冊子からの抜粋です。GMARCH・日東駒専と女子大学を比べてみると、三大女子大学(東京)については、GMARCHの学校群に引けを取らない位置にあります。日本女子大学や昭和女子大学、大妻女子大学、共立女子大学、実践女子大学と併願推薦入試を実施している女子大学も多くあるので、併願を組みやすい状況にあります。その他女子大学も日東駒専の学校群に引けを取りません。大妻女子大学や共立女子大学、実践女子大学は2科目入試を実施してもいるので、必ず3科目で受験しなければならない日東駒専よりも試験の難易度としては受かる可能性が高くなります。もちろん就職が全てではありませんが、「共学校のみ」と選択肢を狭めるのではなく、併願校として選択肢を広げてみてはいかがでしょうか。

順位	大学名	400 社実就職率	順位	大学名	400 社実就職率
38 位	津田塾大学	22.6%	20 位	明治大学	29.8%
45 位	東京女子大学	20.1%	25 位	青山学院大学	26.5%
57 位	日本女子大学	16.2%	27 位	立教大学	26.0%
62 位	聖心女子大学	15.2%	35 位	中央大学	24.2%
83 位	昭和女子大学	11.2%	42 位	学習院大学	21.5%
107 位	フェリス女学院大学	8.9%	44 位	法政大学	20.8%
115 位	東洋英和女学院大学	8.1%	96 位	日本大学	10.0%
117 位	共立女子大学	8.0%	101 位	東洋大学	9.6%
127 位	大妻女子大学	7.5%	122 位	駒澤大学	7.8%
155 位	実践女子大学	5.7%	126 位	専修大学	7.5%

※有名企業 400 社は、日経平均株価指数の採用銘柄や会社規模、知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に選定されています。詳細は右にある QR コードを読み込んで閲覧してみてください。



○単位互換制度により女子大学に通いながら共学でも学べる

単位互換制度とは、締結している大学において履修した科目の単位を卒業要件の単位に含める制度のことです。つまり、他大学で授業を取っても卒業に必要な単位として認めてくれるということです。単位互換制度を設け、各大学のキャンパスで授業を履修できるシステムができています。そのため、女子大学に通いながら共学の大学でも学ぶことができ、また共学の男子学生が女子大学に足を運んで学ぶこともあります。この制度を利用して、本来第一志望で受験した大学の授業を受講する、ということも可能です。

単位互換制度を設けている主な女子大学(図は大学コンソーシアム京都 HP より引用)

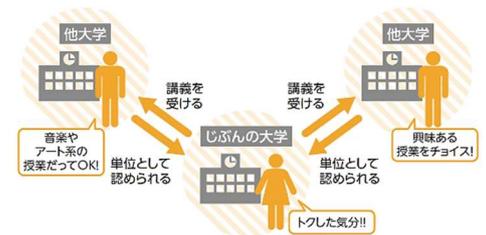
実践女子大学：青山学院大学、國學院大學、聖心女子大学

昭和女子大学：国土館大学、駒澤大学

津田塾大学：国際基督教大学、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京外国語大学、東京経済大学

東京女子大学：亜細亜大学、成蹊大学、東京外国語大学、武蔵野大学

日本女子大学：学習院大学、立教大学、早稲田大学



○主な女子大学の 신설学部・学科

少し前までは「共学の総合大学に比べて学部が少ない」といったネガティブイメージもありましたが、女子大学も様々な改革をしていて、理系の学部・学科も増えています。

近年、学部・学科の新設や学部再編をした女子大学

お茶の水女子大学：共創工学部(2024年)

大妻女子大学：共生デザイン学科(2026年)、データサイエンス学部(2025年)

共立女子大学：児童学部(2026年)、建築・デザイン学部(2023年)、ビジネス学部(2020年)

実践女子大学：食科学部(2026年)、国際学部(2024年)、ビジネス社会学科(2024年)、社会デザイン学科(2024年)

昭和女子大学：総合情報学部(2026年)、国際日本学科(2025年)、環境デザイン学部(2020年)

東京女子大学：英語圏文化専攻(2025年)、経済経営学科(2025年)、心理学科(2025年)、

社会コミュニケーション学科(2025年)

日本女子大学：経済学部(2027年)、建築デザイン学部(2024年)、国際文化学部(2023年)

○推薦入試による「女子枠」を有効利用しよう!

日本では、理工系に占める女子の割合が非常に先進国、諸外国に比べて少ないと言われていることもあり、理工学系の学部を中心に、大学入試で女子学生だけが受験できる「女子枠」を設ける大学が増加しています。四工大の一つである芝浦工業大学の理工系女子特別入学者選抜は倍率 1.0 倍(2024年入試結果)の学科も多くなります。国公立大学では共通テスト免除方式の推薦入試もあります。出願資格を満たしているようであれば、受験を検討してみてはどうでしょうか。

女子枠がある主な大学

東京科学大学、電気通信大学(共テ免除)、千葉大学、富山大学(共テ免除)、金沢大学、山梨大学(共テ免除)、茨城大学(共テ免除)、埼玉大学、福井大学、東京理科大学、芝浦工業大学、東京都市大学、神奈川大学 etc...



○専門学校の入試形態を確認しよう！

早いところは6月から総合型選抜(AO)入試が始まります。しっかりと学校選びをしたうえで、どの入試で受験するのか決めていきましょう。

・総合型選抜

公募制推薦や指定校推薦とは異なり、評定基準ではなく受験生の個性をみて合否を判断する入試です。6月からエントリーが始まる学校が多く、早期に進路決定できるというメリットがあります。

・公募制推薦

指定校推薦と同様、学校長推薦が必要で、なおかつ出欠や評定平均を出願基準に設けている学校があります。

● **下記推薦基準①②を満たし、在籍する高等学校の学校長等の推薦を受けられた方を対象とします。**

【推薦基準】

①アニメーション・芸術分野に関わる業界に強い興味を持ち、将来の進路として捉えていること。

②高等学校三年間の出席率が良好であると判断された方もしくは教科の評定平均が3.0以上の成績取得である方。

(東京アニメーションカレッジ専門学校 HP より引用)

・指定校推薦

受験する専門学校が決まっていて、学校長推薦を受けられる基準を満たしている場合は、志望校の指定校推薦の書類が届いているか進路指導室で確認してみてもいいでしょうか。例年、5月～8月にかけて150校前後の専門学校から指定校推薦書類が送られてきています。専門学校における指定校推薦入試では、受験料免除や、学費減額などの特典を用意している専門学校もあります。

学校推薦型選抜<指定校制>学費支援

内容	入学後、「1年次の納入金」から216,000円減額(学校推薦型選抜<指定校制>合格者の中から最大60名)
対象者	学校推薦型選抜<指定校制>合格者 ※応募不要
選考方法	個人面接・出願書類にて選考
結果通知	採用者にのみ、2025年2月12日(水)~14日(金)に到着するように郵送します。

・一般入試

(山野美容専門学校 HP より引用)

大学入試の結果次第で専門学校の進学を考えている、という生徒は一般入試で受けることになります。各種推薦入試と同様書類選考+面接の形態の学校もあれば、これに筆記試験を加える学校もあります。受験時期が遅いため、人気の専門学校は年内に募集を締め切られていて、受験できないという可能性もあります。

○ 一般選抜

【選抜方法】

昼間：筆記試験と面接試験

(中央工学校 HP より引用)

選考方法は下記の通りです。

●適性診断Ⅰ

マークシート方式の問題で適性を確認します。

●適性診断Ⅱ(専願は免除)

身体のしくみなど医療に関連する初歩的な講義(約45分間)を受け、講義内容からの出題で理解力や思考力を測ります。

●面接

社会人として仕事を進めていくための協調性や積極性などを確認します。

●課題作文(600字程度)

目的意識の強さや明確さを確認します。

(首都医校 HP より引用)

○専門学校の入試で落ちることってあるの？

結論からいえばあります。本校でも歯科医療の専門学校志望者が面接で受け答えできず、再面接となった事例があります。看護専門学校は一般入試が基本で筆記試験があるので、倍率は1.5~2.5倍前後で推移しています。その他情報処理・建築・動物関係などの人気分野の専門学校については、定員枠が埋まる可能性が高いので、その枠を超えるほどの志願者が集まれば落とされることもあります。

面接のみで入試が行われる専門学校では、質問に対する受け答えの他に服装・態度が重点的にみられます。専門学校は卒業後にサービス業(美容・調理・ホテル・ブライダルなど)に直結する分野が多いので、お客さまを前にして無礼な振る舞いをする可能性のある学生を合格にはしたくはありません。専門学校はある1つの分野のプロを目指して学ぶ場であり、一からしつけをする場ではありません。18歳という成人段階になっているにも関わらず、挨拶ができない、服装が乱れている、態度が悪い(入退室の振る舞い、座り方、指摘されたことに対して素直に謝れないなど)学生を合格にすることは、後々提携企業や就職先などに迷惑をかける可能性が高いため、専門学校側にもリスクが高すぎます。2024年1月には北海道の美容専門学校生が飲食店で不適切行為をし、退学処分となり、その学校名も拡散されてしまいました。もちろんこのような炎上行為は専門学校だけでなく、2024年4月に関西の難関国立大学でも発生していて、モラル・倫理観に依るものが主要因だとわかります。このようなことを防ぐため、入学をさせた場合にリスクが高いと判断し、不合格にするのです。

教員から服装・頭髪・挨拶・礼儀など指摘される生徒もいるかと思いますが、全て進路選択に直結していることでもあります。改めて自身の服装、普段の行動、生活態度等を見直す良い機会に思ってもらえたらと思います。



○合格しやすい分、学校選びが全て！

一つの分野に対して、多くの専門学校があります。また、専門学校と一言でいっても、認可校もあれば無認可校(卒業しても高卒扱い)もあります。違いを知るために、必ずオープンキャンパスに行きましょう。施設や設備は必ず自身の目で確認しましょう。また在校生と話をすることで、ネット上ではわからない学生生活の本当のことがわかることもあります。

近年、専門学校をめぐるトラブルのニュースがあります。2024年5月に愛知県の実業学校が急遽閉校を決めました。2025年3月には再開断念、授業料返還、希望者の9割が転校、後に学校の廃止予定というニュースが流れました。少子化の煽りを受けて学生が集まっていない専門学校については、このように経営破綻の可能性も考えられます。2024年に東京だけでも7校が閉校しました。また、埼玉・千葉・愛知県の医療系専門学校ではパワハラ問題が起きています。

学校見学のみで諸種の問題を見極めることは難しいとは思いますが、大事な進路選択でもあるので、入学を決める前に複数の学校を比較し、時間をかけて選んでほしいと思います。